

# 豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業    経常事務事業    **建設事務事業**

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連  
 有  
 無

## 1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	二村山緑地整備事業(主要事業)							
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	都市計画課	係	公園緑地係	評価票作成者	公園緑地担当係長 朝岡正志
1-3 総合計画における施策の体系	節	生活環境 「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」			基本施策	公園・緑地	コード	1 2 2
	項	水と緑の環境づくり			単位施策(中)	公園・緑地整備	コード	1 2 2 1
					単位施策(小)	誰もが楽しめる公園の充実	コード	1 2 2 1 3
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	二村山緑地 12.2ha		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	買収済地を市民が散策、自然観察等を楽しめるよう散策路等の整備する。			
1-5 事務事業の内容	都市計画決定から15年経過し、約47%の用地買収が終り、一部散策路を整備して市民に開放する。							

## 2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度	二村山環境保全推進協議会とタイアップし買収済地の剪定、伐採を実施した。	財政難により用地取得が進んでおらず、枯木、雑木等によりかなり荒れた状態になっている。		計画決定し網掛け状態になっているにもかかわらず、市が買取り申出に対応出来ず早期買収の希望が多い。	
	平成19年度					
	平成20年度					
	平成21年度					
	平成22年度					
	平成23年度					
	平成24年度					
	平成25年度					
	平成26年度					
平成27年度						

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	未買収面積に対する買収面積(ha)		1(ha)	2(ha)	年間0.2haの買収を目標に前期後期共に1haを設定した。

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	活動実績 a(ha)	3									
	直接事業費 b(千円)	3,003									
	人件費 c(千円)	201									
	合計コスト d(b+c)(千円)	3,204									
単位コスト d/a(千円)	1ha当たり1,068	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 →

直接事業費は買収済用地の施設の維持管理473千円+草刈等2,530千円  
 散策路整備済区域(全体面積の約1/4、維持管理費、係総事業費の4割の2.5%)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2-4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(単位)	0.2(ha)									
	後期目標値に対する達成度(%)	10(%)									

### 3 事務事業の自己評価結果

3-1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		A									

4段階評価結果  
 A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する  
 B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要  
 C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要  
 D : 事務事業の廃止が相当

判断の基準  
 必要性(必要な事務事業であるか)  
 公共性(公が実施する意味があるか)  
 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)  
 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)  
 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)  
 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3-2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取組みの自己評価
平成18年度		買取希望者が多く、予算計上が必要不可欠である。	用地取得の予算計上	会社からの買戻し、環境保全推進協議会と協調し、竹の伐採等買取地の緑地保全の実施している。
平成19年度				
平成20年度				
平成21年度				
平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				

### 4 事務事業の総合評価結果

4-1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度		B	都市計画決定から15年経過をしており、事業の見直しをする必要がある。
平成19年度			
平成20年度			
平成21年度			
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			